

「外資企業におけるデータ越境コンプライアンス」のポイントと日本企業が講じるべき対策に関する個別相談会



拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素はご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

PwC中国日本企業部による「外資企業におけるデータ越境コンプライアンス」のポイントと日本企業が講じるべき対策に関する個別相談会のご案内をお知らせいたします。

ご多忙の折とは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

PwC Mainland China and Hong Kong 日本企業部統括代表パートナー

高橋 忠利

開催趣旨

近年、サイバー攻撃の高度化にともない、様々なセキュリティシステムのログを相関的に分析し、いち早く解決策を見つけ対応することが最も重要になってきています。

そのために必要なセキュリティ対策を自社で構築し運用するには、専門部署の準備や、構築するまでの膨大な時間やコスト、セキュリティに関する専門知識をもった人材の確保が必要になりますが、中国においてもセキュリティ分野に関する人材が不足しているため、優秀な人材確保は困難な状況となっています。

このように、コストや運用の負担をできる限り軽減しセキュリティ対策を最大限に実現するためには、MSS(Managed Security Service)が必要になってきます。

MSSとは、企業のゲートウェイに設置したセキュリティ機器のログをチェックして危険度に応じて企業に通知するサービスです。弊社は企業がもつネットワークやシステムを24時間365日監視して情報資産を守る業務のアウトソーシングを受ける、SoC (Security Operation Center)を有しておりますが、

その中で専門のセキュリティアナリストがSIEM(Security Information and Event Management)を活用して、セキュリティ機器のログの監視・分析を含むMSSを提供しております。

弊社では2018年より香港地区でMSSのご提供を始め、現在中国大陸で計約200名のセキュリティスペシャリスト、24×7で対応できるSoCメンバーを計30名抱えております。

これまで約80社のクライアントにMSSを提供しておりますが、日々数多く発生するアラートやインシデント対応を効率的に行うため、サイバーセキュリティ運用に関する知見やノウハウを多数蓄積してきました。

特に昨今はデータ越境移転コンプライアンス対応の関係から「自社でSoCの構築・運用を検討しているが、どのような体制を組めばよいか分からない」というお悩みやご相談が増えてきたため、

お客様自身でSoCを構築・運用するためのコンサルティング等のご支援も行っております。

そこで、今回 PwC中国では、サイバーセキュリティ運用に関してお困りごとをお持ちの方々の一助になればと思い、弊社MSSで用いているノウハウの一部をご紹介させていただき、個別相談会を開催いたします。

MSS導入、あるいはSoC構築・運用改善を検討されている企業様等、ご興味・ご質問がごありの方は是非当機会をご活用いただけましたら幸いです。

主な問い合わせ内容:

- ・ 効果的・効率的なセキュリティ運用体制の導入及び改善方法
- ・ 脅威情報(スレットインテリジェンス)やダークウェブ調査の活用方法
- ・ 脆弱性診断やペネトレーションテストの活用方法
- ・ データ越境移転コンプライアンスの概要と対策

上記についてご興味がおありの場合、個別相談会を設けさせていただきますので、ぜひ以下高橋、唐鎌、Josephまでご連絡いただけますと幸いです。

【連絡先】PwC中国 日本企業部

高橋 翔太 (shota.s.takahashi@cn.pwc.com)

唐鎌 宏行 (hiroyuki.h.karakama@cn.pwc.com)

Joseph Xin (joseph.j.xin@cn.pwc.com)



<個人情報の取り扱いについて>

お客様のプライバシーは、当社にとって非常に重要なものとなります。当社がお客様の個人情報をどのように収集し、処理するかについての方針の詳細は、当社のプライバシーステートメント(<https://www.pwchk.com/en/privacy.html>)をご覧ください。

© 2023 PricewaterhouseCoopers. All rights reserved. "PricewaterhouseCoopers" and "PwC" refer to the network of member firms of PricewaterhouseCoopers International Limited ("PwCIL"). Each member firm is a separate legal entity and does not act as agent of PwCIL or any other member firm. PwCIL does not provide any services to clients. PwCIL is not responsible or liable for the acts or omissions of any of its member firms nor can it control the exercise of their professional judgment or bind them in any way. No member firm is responsible or liable for the acts or omissions of any other member firm nor can it control the exercise of another member firm's professional judgment or bind another member firm or PwCIL in any way.